

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	サンライフ川越運営管理業務				継続							
コード	54	-	23	-	02	-	00	予算事業名	サンライフ川越運営管理			
担当部署	産業観光部	雇用支援課	雇用支援担当	予算事業コード	会計	10	款	15	項	01	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	4章	にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	根拠となる法令、条例等	川越市中高年齢労働者福祉センター条例
方向性(節)	1節	地域経済の活性化と産業振興	個別計画等の名称	なし
施策	2	雇用の促進と労働環境の改善		
細施策	3	福祉制度の普及・促進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	主に45歳以上の中高年齢労働者の雇用の促進、文化・教養の向上、健康の増進や余暇活動の促進を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	財団法人川越市勤労者福祉サービスセンターを指定管理者として、勤労者を対象とした文化・教養講座等の自主事業の実施と、トレーニング室、会議室等の施設の貸し出しを行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		29,020	29,919	26,072	24,253	22,953	
事業費	A	25,107	27,158	24,783	24,253	22,953	22,953
	B	1,480	740	740	1,480	740	1,480
総コスト(C=A+B)		26,587	27,898	25,523	25,733	23,693	24,433
正規職員(1年間の従事人数)		0.20人	0.10人	0.10人	0.20人	0.10人	0.20人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	2,558	2,563	2,642	2,534	2,593	
市の財政負担(=C-D-E)		24,029	25,335	22,881	23,199	21,100	24,433

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	教室等実施数	講座	22	22	21	20	1年間の教室等の開講数
成果	教室等参加者数	人	1,239	1,210	1,108	880	教室等の参加者数
活動	施設利用可能日数	日	307	308	299	302	1年間の利用可能日数
成果	施設利用者数	人	22,036	22,271	21,941	20,344	1年間の利用者数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		年間2万人以上の利用者があり、自主事業の教室等の申込率は良く、施設の利用が定着していると考えられる。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況 効率性に課題
駅から遠く最寄のバス停が無いなど交通の便が悪く、車以外での来館が難しい。このような状況の中、駐車場台数の不足が課題となっている。隣接の芳野台体育館と同一の指定管理者とし、一体的な管理による効率化を図っているが、更なる効率化を図るためには、設置条例の一本化が課題となっている。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)
県内20万人以上市:5市(熊谷市・川口市・所沢市・春日部市・草加市)
中核市(回答36市):34市
※労働会館、勤労福祉会館といった名称のもの含む

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響
今後、勤労青少年ホーム、女性会館が廃止の予定となっており、当施設を廃止した場合、本市の勤労者施設が無くなる。

(4) 所属長自己評価(今後の方向性) 改善(見直し)
指定管理者の管理により一定の効率化を図っているが、更なるサービスの向上を図るため、課題となっている駐車場の増設や設置条例の一本化などの検討を行う。また、勤労青少年ホームの廃止(予定)に伴い、勤労青少年福祉事業の一部受け入れの検討が必要である。